

農林水産省認定

# 農福連携 技術支援者 育成研修

申込締切日

令和7年1月10日(金) 15時 ※時間厳守



## 農福連携技術支援者とは

農福連携に携わる当事者(農業者・障害福祉事業所職員・障害者本人)に対し、農作業での安全面の配慮や障害特性に応じた作業分担等、実践的なアドバイスを行う専門人材のことで、修了試験を含む全ての研修課程を受講し、必要な知識と技能を身につけたと認められる方は研修修了者となり、「農福連携技術支援者(農林水産省認定)」として、現場において実務的な助言をすることができます。

募集人数

20名

受講料

無料

研修に係る  
交通費等は  
受講者負担

### 【農福連携を通して農業・福祉について学べます】

- 農作業の特徴、農業経営のしくみ等
- 農作業における作業細分化、作業割り当ての技法等
- 社会福祉や障害者福祉、障害者雇用に関すること
- 障害福祉サービス事業の仕組み、運営の実務等

### 【申込条件】

- ・沖縄県内にて「農福連携に携わっている方」または「資格取得後に沖縄県内にて農福連携を推進するために活動できる方」  
※農業者、障害福祉事業所職員、自治体職員、農業関連組合(JA、花き農協等)、民間企業等
- ・第一講座(座学研修)と第二講座(実地研修+グループワーク)、修了試験を含むすべての研修課程を受講できる方
- ・メールでの連絡やファイル送受信などが可能なデジタル環境が整っている方
- ・申込多数の場合、受講できない場合があります。  
受講者選考の詳細等についてはお答えできませんので、ご了承下さい。

## 沖縄県で受講できます!

### 第1講座

#### 座学研修

農林水産省が配信する農福連携技術支援者育成研修の座学研修をe-ラーニングにて受講。  
受講後、レポートの提出にて修了となります。

### 第2講座

#### 実地研修+グループワーク

県内の福祉事業所視察や、露地畑やビニールハウス内での農作業、障害者特性に対応した農作業支援技法を学ぶグループワークなどを実施します。

詳しい研修内容はウラ面をチェック!

申込  
方法

左のQRコードを読み込み、  
「農福連携技術支援者育成研修  
受講申込フォーム」  
にてお申し込みください。

### 研修に関するお問合せ

受託会社/有限会社アイディー・ブランド

TEL 098-941-3972 (月~金 10:00~16:00)

E-MAIL noufuku@idb-aaa.co.jp

以下の講座を通して、農業現場において関係者に実務的なアドバイスを行う

**「農福連携技術支援者(農林水産省認定)」を育成します**

**第1講座 座学研修**

※掲載内容は変更になる場合がございます

- 【期間】 令和7年1月24日(金)～2月6日(木)  
 【場所】 ネットワーク環境がある場所にて各自での対応  
 【時間】 各90分 ※座学⑩のみ3時間となります。

※受講者には受講者専用サイト(YouTube)のURLを送ります。  
 期間中に各自にて受講をお願いします。

座学① 農福連携概論 吉田 行郷 氏 (千葉大学 園芸学 研究員 教授)	座学② 社会福祉と障害者福祉 朝日 雅也 氏 (埼玉県立大学 名誉教授)	座学③ 障害者雇用と就労系障害福祉サービス事業の仕組み、関係機関の役割 厚生労働省	座学④ 障害福祉サービス事業の運営の実務 小淵 久徳 氏 (社会福祉法人ゆずりは会 菜の花 管理者)
座学⑤ 障害特性と職業的課題の基礎 若林 功 氏 (国際医療福祉大学 准教授)	座学⑥ 農業と農村社会 農林水産政策研究所	座学⑦ 農作業の一般的な特徴 豊田 正博 氏 (兵庫県立大学 教授)	座学⑧ 農業経営の仕組み 久保田 豊和 氏 (静岡県立田方農業高等学校 校長)
座学⑨ 農作業の流れ 藤田 智 氏 (恵泉女学大学 教授)	座学⑩ 農業者による農福連携の経営実務 竹内 巧 氏 (竹内農園 代表)	座学⑪ 農作業における作業細分化・難易度評価・作業割当ての技法 (事前学習) 豊田 正博 氏 (兵庫県立大学 教授)	

**第2講座 実地研修+グループワーク**

- 【期間】 令和7年2月18日(火)～21日(金)

	1日目 令和7年2月18日(火) 場所: 沖縄県立農業大学校 (宜野座村)	2日目 令和7年2月19日(水) 場所: 沖縄県立農業大学校 (宜野座村)	3日目 令和7年2月20日(木) 場所: NPO法人大夢農場 (うるま市) 沖縄県立農業大学校 (宜野座村)	4日目 令和7年2月21日(金) 場所: 沖縄県立農業大学校 (宜野座村)
8:00			※バスにて見学場所へ移動	
9:00	開講式・オリエンテーション (9:00～9:40)	実地研修① (9:00～11:00) 農作業における作業細分化・難易度評価・作業割当ての技法 ●刈り払い機、鎌による除草 ●くわ等作業 新里 えり子 氏 (がらまんファーム 代表、農福連携技術支援者)	事業所見学 (8:30～11:15) 障害福祉サービス事業の運営・実務 石川 哲次 氏 (NPO法人 大夢 理事長)	実地研修④ (9:00～11:00) 農作業における作業細分化・難易度評価・作業割当ての技法 ●調製 ●袋詰め ●作業室清掃等 ●治具を活用した出荷調整・袋詰め、作業室清掃等 新里 えり子 氏 (がらまんファーム 代表、農福連携技術支援者)
10:00	グループワーク (9:40～12:00) 障害特性に対応した農作業支援技法 新里 えり子 氏 (がらまんファーム 代表、農福連携技術支援者)	実地研修② (11:00～12:00) 農作業における作業細分化・難易度評価・作業割当ての技法 ●セルトレイへの種作業 新里 えり子 氏 (がらまんファーム 代表、農福連携技術支援者)		振り返り (11:10～12:30) ＜実地研修④の演習＞ 農作業における作業細分化・難易度評価・作業割当ての技法 新里 えり子 氏 (がらまんファーム 代表、農福連携技術支援者)
11:00				
12:00	昼休憩	昼休憩	昼休憩	
13:00	グループワーク (13:00～15:40) 障害特性に対応した農作業支援技法 新里 えり子 氏 (がらまんファーム 代表、農福連携技術支援者)	振り返り (13:00～14:30) ＜実地研修①の演習＞ 農作業における作業細分化・難易度評価・作業割当ての技法 新里 えり子 氏 (がらまんファーム 代表、農福連携技術支援者)	実地研修③ (13:00～14:30) 農作業における作業細分化・難易度評価・作業割当ての技法 ●果菜類の収穫作業 新里 えり子 氏 (がらまんファーム 代表、農福連携技術支援者)	昼休憩
14:00				(14:00～15:30)
15:00		振り返り (14:40～16:10) ＜実地研修②の演習＞ 農作業における作業細分化・難易度評価・作業割当ての技法 新里 えり子 氏 (がらまんファーム 代表、農福連携技術支援者)	振り返り (14:40～16:10) ＜実地研修③の演習＞ 農作業における作業細分化・難易度評価・作業割当ての技法 新里 えり子 氏 (がらまんファーム 代表、農福連携技術支援者)	修了試験
16:00				閉講式 (15:45～16:00)
17:00				

- 実地研修の最終日に修了試験を実施します。農林水産省は、受講者の修了試験の結果を踏まえて、後日、必要な知識と技能を身につけた者を「研修修了者」として認定します。認定の通知を受けるまでは、「農福連携技術支援者(農林水産省認定)」の肩書きを用いることはできません。なお、認定まで1～2ヶ月程度かかりますので、御了承ください。
- 農福連携技術支援者(農林水産省認定)は、国家資格ではありません。
- 理由の有無に関わらず、受講できない日やコマがあった場合、フォローの講義受講は行わず、その時点で修了試験は受けられません。
- 災害等のやむをえない事情により、研修を延期又は中止する場合があります。その場合、予約した交通機関や宿泊施設のキャンセル料は、受講者又は受講者の所属団体に於いて負担をお願いいたします。



左のQRコードを読み込み、  
**「農福連携技術支援者育成研修 受講申込フォーム」**  
 にてお申し込みください。

**研修に関するお問合せ**

受託会社 / 有限会社アイディー・ブランド

TEL 098-941-3972 (月～金 10:00～16:00)

E-MAIL noufuku@idb-aaa.co.jp